

# 泉州聴覚障害者センター(仮) 建設委員会

ニュース

第15号

発行日  
2018年  
10月1日

## 泉州聴覚障害者センター(仮)建設用地決定! 国庫補助金の獲得目指し各市意見書提出依頼運動終わる。

### 新たな発展に見合った 運動展開を

2018年9月5日(水)午後7時から谷町福祉センター1階で泉州聴覚障害者センター(仮)建設委員会事務局会議が開かれました。

清田委員長から、「先日の台風21号で被害を受けたところがあり大変だったと思います。大阪は被害を受けてないと思っていたが、その後のニュースで大きな被害があったと知りました。こんな大きな台風は昭和36年の第2室戸台風以来です。ろうあ者関係に被害がないか調べてください。」

美川憲一のイベントも終わったので、改めて施設建設に力を入れて頑張っていきたい。」と挨拶がありました。

### 貝塚市に建設用地確保

次に、法人の佐藤専務理事から、泉州聴覚障害者センター(仮)の場所、敷地、費用について報告がありました。

購入を決定した土地は、貝塚市半田にあります。最寄り駅はJR東貝塚駅で駅から300mのすぐ近くで

す。土地の広さは約1,500平方メートルになります。

7月31日(火)に売買契約を行い、土地購入代金の1割(700万円)を支払い済です。10月末に土地の所有権移転登記を行う際に、8割(5,600万円)を支払う予定です。2019年5月に最後の1割を支払う予定になっています。

7月26日に地元町会の会長と地元選出の市議員、8月7日に地元の水利組合長(田んぼへの用水路の管理をしている)、9月2日に半田町会評議員会に施設の説明と協力をお願いしましたが、特に反対はなく、「いい施設なので、頑張ってください」と励ましの言葉をいただきました。貝塚市へ施設建設について状況を報告してもかまわないかと聞きまししたら、問題ないとのことでした。

説明には、法人関係者だけでなく地元の聴協役員も一緒に行き、なかまの里の製品(パウンドケーキ)を配りました。「こういうものを作っているのか。」と施設の内容等理解しやすかったのではないかとということでした。

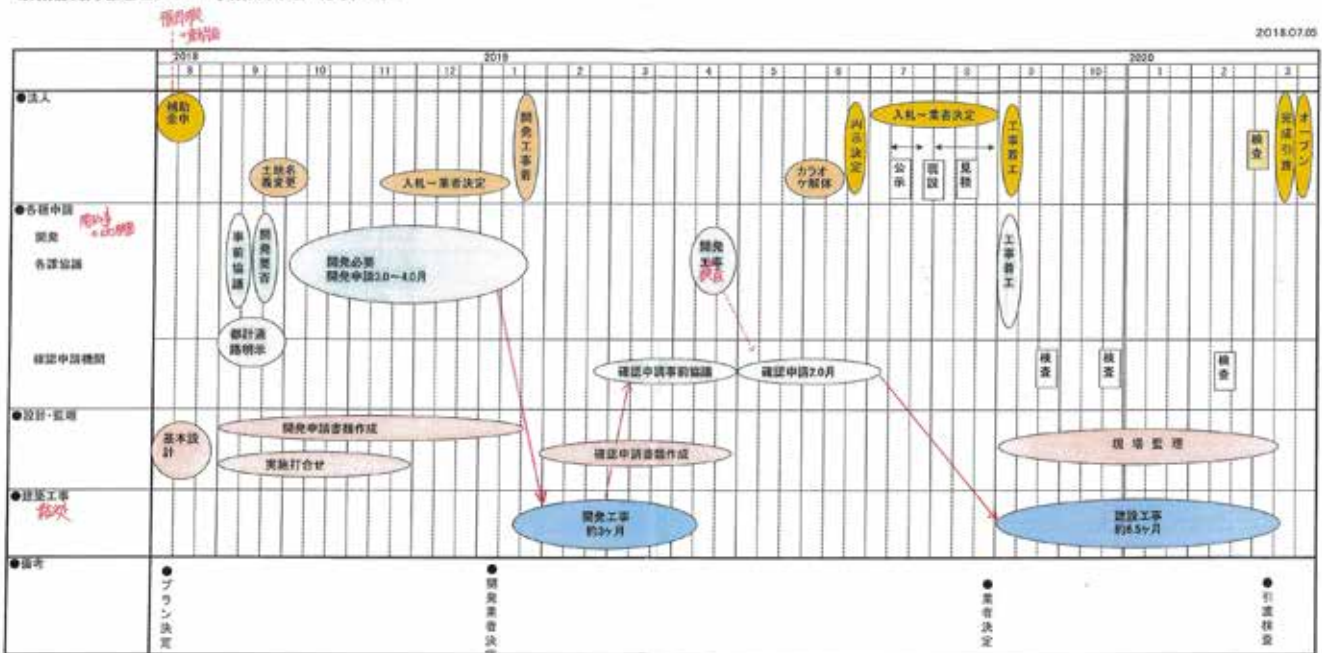
### 大阪府を通し 国庫補助金申請へ

岸和田等広域事業者指導課と「障害福祉サービス事業所の事前審議」を終え、大阪府への国庫補助金に必要な「事前協議書」に受付印をもらいました。8月8日(水)に大阪府に国庫補助金の事前申請を行いました。

11月・12月に国庫補助金に関する審査会があり、そこで法人がプレゼンテーションを行う必要があります。大阪府の審査が通って国への国庫補助金申請が可能となり、2019年6月頃に国庫補助金の内示が出たら、すぐに建設業者への現場説明を行い、入札、建設業者決定をすることになります。

それまでに土地開発の申請を行い土地を更地にして、開発許可をもらっておく必要があります。こういう段取りをした上で、建設工事は2019年9月から2020年2月末までとするとの具体的なスケジュール案が出されました。

泉州聴覚障害者センター 事業スケジュールイメージ



泉州地域の堺市以外のすべての市町から、「聴覚障害者が安心して利用できる施設の整備が強く望まれる」との意見書が提出されました。この意見書は市長名または福祉事務所長名で出していたいただいたものです。

### 募金運動の進捗状況について

・大聴協各ブロックの募金運動の状況についてブロック長から報告がありました。

それによると、泉州ブロック以外は余り進んでおらず、もつと計画的に進める必要があります。

各ブロック等の到達状況を具体的な数字で表示し、誰もがわかりやすくする工夫の必要生も出されました。

・50円募金について  
(1年半で27,000円募金)

前回会議の報告から余り進展がない状況が報告されました。前回の事務局会議で、大聴協役員等の目標と到達の明確化が話し合われましたが、まだそうなっていないことも指摘がありました。

そのため数の増加が見られないので、早急に取り組むことが決まりました。

・この話し合いの中で、最近の時点で50円募金の登録をしてもらった人は、来年3月までに27,000円を払ってもらおうのは難しいとの話が出されました。

この問題については、基本は1年半であり2020年4月に施設の開所が伸びたので、今から1年6か月

で27,000円を貯めて払ってもらうことを確認しました。

あります。そのため2019年の7月か8月に再度イベントをやることになりました。集客が見込めるイベントは誰なのか、次回の会議までに事務局に案を出すことになりました。

### 新たなイベントの開催について

「全国ろうあ者大会『大阪』」の後に行われた、美川憲一コンサートの収益が約180万円で、残り320万円を別の方法で作る必要が

### 次回会議予定

施設建設委員会全体会議  
10月6日(土) 午後6時から

また、「イベントよりも街頭募金のほうが確実に募金が集まりやすいのではないか」と意見もありました。

### 泉州聴覚障害者センター(仮)「基本計画」

#### 1. 建設用地

住所	貝塚市半田
面積	1530.23 m <sup>2</sup> (462.89 坪)
建物内部面積 合計	644.90 m <sup>2</sup>
ケーキ・食堂棟	294.77 m <sup>2</sup>
相談・応接	20.00 m <sup>2</sup>
軽作業棟	330.13 m <sup>2</sup>
渡り廊下面積	38.00 m <sup>2</sup>

#### 2. 事業及び定数

障害福祉サービス(定員45名)	
生活支援事業	25名
※なかまの里のなかまを中心	
就労継続型支援B型事業	20名
※グループホーム・在宅者を中心	

#### 3. 開所予定時期 2020年4月1日

#### 4. 作業内容

- ① 食品加工(ケーキ、クッキー、せんべい等の製造・販売)
- ② 軽作業(会社からの下請け作業等)
- ③ 自主製品の製造・販売

### (仮称) 泉州聴覚障害者センター 新築工事 計画案 (中庭TYPE)

2018.07.18 VANS

内部面積	ケーキ食堂棟	292.00m <sup>2</sup>
	相談・静養	20.0m <sup>2</sup>
	軽作業棟	329.90m <sup>2</sup>
	渡り廊下面積	35.80m <sup>2</sup>
	合計	677.70m <sup>2</sup>

